



海田町

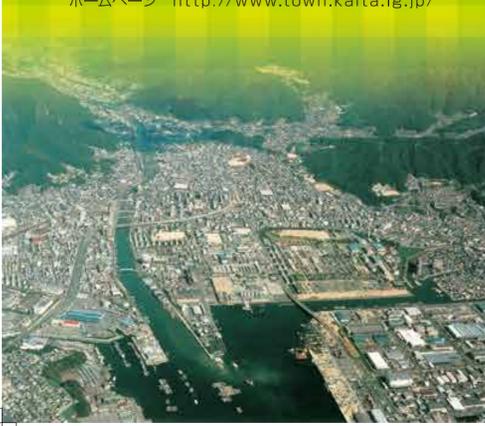


アクセス

- JR山陽線・呉線で海田市駅下車
広島駅より約8分。西条駅より約25分。
呉駅より約30分。
- 広島電鉄バス・芸陽バス
海田方面行き 広島バスセンターより約30分。

ガイドマップに関する問い合わせ先

海田町企画課 広島県安芸郡海田町上市14番18号
TEL 082-823-9212 FAX 082-823-9203
ホームページ <http://www.town.kaita.lg.jp/>



海田町の位置図

海田町は広島県の西部、政令指定都市広島市の東側に位置し、南西側は海田湾に面しています。町域の東側は、熊野町と接していますが、それ以外は広島市安芸区に含まれる形となっています。

- ◆面積：13.79km²
- ◆人口：29,322人(平成28年4月30日)
- ◆町章(昭和43年7月制定)

海田町の町章は、KAITAのKを図案化したものです。希望と繁栄を上部へ伸ばし、円で町民の調和(住みよい)を象徴しています。

- ◆町木：クスノキ(昭和61年9月制定)

大地にしっかりと根をおろし、大きな枝を上げたクスノキの姿は、雄々しく、どんな苦勞をも受け止める風格があります。クスノキは、町民に安らぎを与え、海田町を象徴する木です。

- ◆町花：ヒマワリ(昭和61年9月制定)

夏の日ざしの中で、太陽に向かって伸びるヒマワリの姿は、どんな困難にも負けず、明るく、健康でたくましいものです。ヒマワリは夢と希望を秘めて発展する海田町を象徴する花です。

ヒマワリマーク(平成元年7月制定)

第4次海田町総合計画 (2011~2020)

<都市像>
ひと輝く・四季彩のまち
しきさい
かいた

～海田らしさがきらりと光る、
支え合う豊かさづくり～

人と自然・環境を大切にすることで、**人が育ち、活躍し、季節感のある安全・安心で元気な魅力あるまち**を、住民の皆さんをはじめとした多くの人々の参加と連携によって築いていきます。

“四季彩”とは、自然や人々の活動を通じて季節(四季)を感じるまち、そして、多彩な資源と人と活動、魅力の存在を意図しています。

まちづくりの基本目標

- 子育てしやすく人が輝くまち
子どもが健やかに育ち、だれもが等しく尊重され、健康で安心して暮らせるとともに、地域において参加と活躍の機会が確保され、実際にみんながいきいきと活動する「子育てしやすく人が輝くまち」をめざします。
- 環境を大切にすまち
多彩な自然、歴史文化を身近に感じる都市空間や、地域活動の蓄積を生かしながら、住民一人ひとりが取り組む「環境を大切にすまち」をめざします。
- 個性と活力のあるまち
地域資源や立地条件、産業の蓄積、地域活動、交流の取り組みを生かしながら、人と地域の力を引き出し、育てる「個性と活力のあるまち」をめざします。
- 支え合いと協働のまち
地域の課題解決や魅力づくり、活力づくりにおいて、住民や企業等が協力し、参加・連携する「支え合いと協働のまち」をめざします。

海田町名誉町民

織田 幹雄氏 (1905~1998)

第9回オリンピック競技大会(1928/アムステルダム)の三段跳びで15メートル21センチを跳び、日本人初の金メダルを獲得。戦後国際スポーツジャーナリストとして日本陸上競技界の発展と青少年の健全育成に尽力するとともに、第18回オリンピック競技大会(1964/東京)では、陸上チーム監督、また国際陸上競技大会では、副会長兼コーチなどを務め、国際親善に大きく貢献。

加藤 陽三氏 (1910~1989)

日本の平和と安全のための基礎づくりに貢献するとともに、本町の旧軍用地(進駐軍接収用地)の日本政府への返還を実現させ、その地に企業を誘致することにより、今日の海田町繁栄の基礎をつくる。また海田西小中学校の建設に際しての自衛隊幹部宿舎の移転、本町治水の要である尾崎川排水施設新設事業などに取り組み郷土づくりの先駆者として大きく貢献。

海田町町民栄誉賞付与

三村 敏之氏 (1948~2009)

広島カープ(現広島東洋カープ)選手時代にリーグ初優勝に大きく貢献し、3度のベストナインに輝く。現役引退後もカープ1軍監督に就任するなど、若手の育成に力を注ぎ、チームを4年連続Aクラスに導く。町では、「町民に希望と活力を与える顕著な功績があり、広く町民が敬愛する方に対して贈る賞」として、海田町町民栄誉賞を付与。

三段跳び

織田幹雄氏にちなんだお酒「ほっぶすてっぶじゃんぶ」

お祭り イベント 盛りだくさん

かいた七夕さん

毎年7月上旬の土曜日に行われます。すたれつつある七夕の行事復活と新しい文化の創造をテーマに瀬野川河川敷はゆかたを着た人たちににぎわいます。

ワッショイ!かいた

健康・食育、子育て支援をテーマとする「福祉保健まつり」。

海田市祭り

海田住民活動ネットワークの皆さんによるイベント。

瀬野川健康ウォーキング

きれいに整備された瀬野川河川敷ウォーキングコースを、秋の風を感じながら歩きます。海田町では、住民一人ひとりの健康づくりがより一層進んでいくことをめざして「第2次健康かいた21」を策定しました。この計画において、健康寿命をのばすことを目標に、「元気増やし事業」としてウォーキングをはじめとしたさまざまな取り組みを実施しています。

出崎森神社/火ともしまつり 海田町無形文化財

10月中旬、出崎森神社の秋祭り前夜に行われます。出崎森神社が筑前の宗像神社より勧請されたとき、人々がたいまつをもとて船を出迎え導いたことから始まったと伝えられています。

海田鼓童子